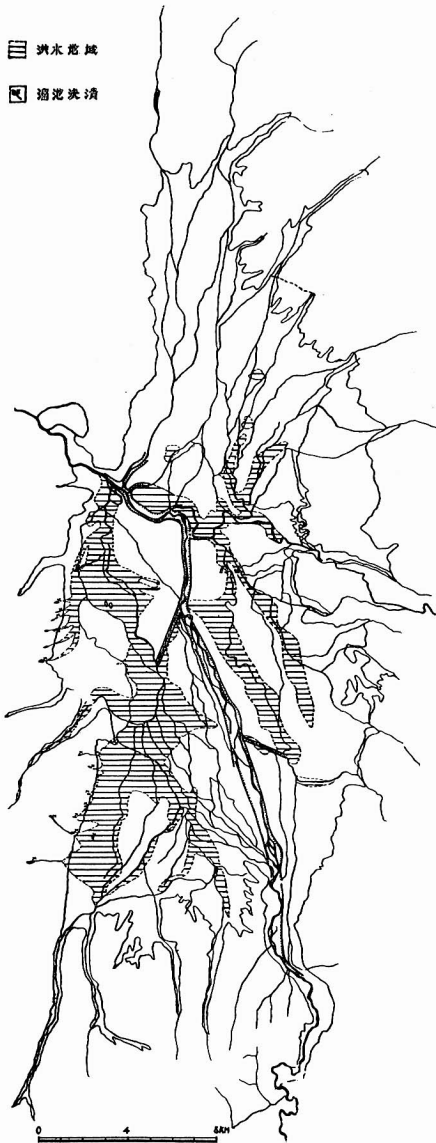


会津盆地洪水分布図
昭和31年(1956)7月15日~17日



大塩川・せせらぎ川・湯川の合流地帯の洪水滞水時間を延長させるなどの条件も加わっている。

河川の増水量としては、必ずしも著大とはいい得なかった。宮古は特に大川筋の増水が少なかったために七月十七日午前三~四時の最高水位で二・九メートル、宮川は同じく午前三時で三・二メートル、これを合流した山科水量水標では十七日午前八時最高四・六七メートル、これは改修前の大正二年は勿論、改正後の昭和十六年昭和二十二年以来の三年連続の台風高水位にはるかに及ばない。

しかし被害をみると、死者三五、家屋流失七六、床上、床下浸水併せて九、三八一戸、水田流失埋没一、〇一七・六町、冠水四、九五〇・三町、畑の流失埋没二九一・二町、冠水一、二九三・六町、道路決潰一八二カ所、橋梁流失三四九、堤防決潰一一五、山崩れ一〇七カ所、鉄道も七カ所で決潰切断された。これが大川筋では殆ど皆